

gBizID(GビズID)のススメ

～ 既に始まっている行政手続き電子化の流れ ～

2021年3月

Investment Vision,Inc.

gBizIDとは？何ができる？

- 行政手続きを簡素化・デジタル化（電子化）するための**共通ID**
- ⇒ **一つのID・パスワード**で様々な行政サービスを利用
- ⇒ **無料で電子申請**（電子証明書不要）できる
- ⇒ **24時間対応可能**
- ・政府の「行政システム改革」によるデジタルファースト、ワンスオンリー、ワンストップをキーワードにした取組み。2020年4月から経済産業省が提供。
- 例）各種補助金申請、社会保険手続きなど（経済産業省、中小企業庁の手続きはもちろん、総務省、日本年金機構、資源エネルギー庁など順次拡大している）

gBizIDを利用すべき事業者

- 補助金申請を行ったり、行政関連業務を効率化したい**すべての事業者**
- ※**特定法人**(資本金1億円以上など)では既に電子申請が**義務化**されている！
- ⇒ 行政手続きで役所に出向き待たされる時間が不要(感染症対策にもなる)
- ⇒ 書類の手書きや印刷をやめ電子化データで送付できる
- 2020年度から **あらゆる届出・手続きが変革**しつつある。
- **【重要】令和3年3月の事業再構築補助金の申請は電子申請のみ（G Biz IDが必須）となっています！！**

政府は2018年6月に「政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係る基本方針」を策定。その中で「クラウド・バイ・デフォルト原則（クラウドサービス利用を第一候補とする）」を唱え具体化が進んでいる。2020年にはデジタル庁も新設され、さらなる行政システムの刷新が期待されている。

gBizIDの種類

- gBizIDエントリー、gBizIDプライム、gBizIDメンバーの3種類。すべて利用は無料。
- 【gBizIDエントリー】
 - 即ID発行可能。対応サービスが極端に少なくメリットはあまりない。
- 【gBizIDプライム】
 - 印鑑証明が必要。2週間以内に審査完了。全てのサービスに対応。本来は電子証明書が必要な手続きでも電子証明書が不要になる。
- 【gBizIDメンバー】
 - gBizIDプライム取得後に従業員に対して即ID発行可能。ほぼ全てのサービスに対応。

gBizID対応の主要サイト

e-GOV 電子申請

大半の行政手続きを電子申請できる。電子証明書が必要な手続きについても、gBizIDを利用すると電子証明書が不要になる。

 **日本年金機構**
Japan Pension Service

社会保険・雇用保険手続きの電子申請（資格取得届、資格喪失届、算定基礎届、月額変更届、賞与支払届、被扶養者（異動）届、国民年金第3号被保険者関係届）に利用。

jGrants

経済産業省がリリースした補助金の電子申請システム。2020年12月20日にjGrants2.0としてリニューアル。gBizIDが必須。対応補助金は順次拡大。

ミラサポplus↑

中小企業向け補助金・総合支援サイト

中小企業向けの支援サイト。補助金だけでなく電子申請ポータル、経営可視化ツールなど各種機能がある。

※2020年にはIT導入補助金の専用サイトなどもあった。

まとめ

- 2020年から行政手続きの電子化が大きく進展。今後、多くの行政手続きが電子化されていく（大企業は既に義務化）。
- ビジネス系の行政手続きの電子化はgBizIDで一本化される見込み。
- gBizIDの利用で時間・コスト削減と業務の効率化に寄与。

今後も行政手続きが継続して見込まれるなら
gBizIDを利用しないと大きなロス